

2026年 7月 8月 9月 中の会カレンダー

中の会イベント

- ・7月10日(金) 12:00 おとこの台所
- ・9月11日(金) 12:00 おとこの台所
- ・9月29日(火) 9:45 武相荘見学会

中防災センター
中防災センター
谷保駅改札口集合

おとこの台所 申し込み先
田代 080-9578-7340
前日まで先着25名受付ます

武相荘見学 連絡先
古川 080-5033-8225

盆踊りイベント

- ・7月19日((日) 八小育成会主催盆踊り
- ・8月1、2日(土、日) 一番街商店会主催盆踊り

国立第八小学校
国立駅南口前

大学通り清掃 (毎月第2日曜日、第4日曜日)

- ・7月12日(日)、26日(日) 7:00 ガスト南集合
- ・8月 9日(日)、23日(日) 7:00 ガスト南集合
- ・9月13日(日)、27日(日) 7:00 ガスト南集合

中の会理事会

- ・7月18日(土) 10:00 中1丁目集会所
- ・8月21日(金) 19:30 オンライン会議
- ・9月19日(土) 10:00 中1丁目集会所 (予定)

くにたち朝顔市

・7月4日(土)、7月5日(日) 6:00-14:00

くにたち朝顔市実行委員会主催 大学通り緑地帯

資源物回収

- ・7月 4日(土) 8:30 中防災センターへ集積
 - ・8月 1日(土) 8:30 中防災センターへ集積
 - ・9月 5日(土) 8:30 中防災センターへ集積
- (雨天の場合は、当日午前7時に判断し、状況により翌週に順延。)



理事会

3月

4月

5月

日時：令和8年3月21日(土)

10時00分 出席者12名

中1丁目集会所

1. 総務より新理事の選任スケジュールについて報告。
2. 各部門より令和8年度の活動計画について発表。
3. 新事業に伴う予算を各部門で検討し、5月の理事会で決定することを確認。
4. 令和8年国立会中の会総代会は、6月13日(土)11時30分開会、議事終了後、12時30分より弁当昼食を実施することになった。

日時：令和8年4月17日(金)

19時30分 出席者12名

オンライン

1. 5月の理事会に、各部門より予算案提出の再確認。
2. 令和8年度、新理事候補の推薦は、各自から河村会長に行う。
3. 総代会に、より多くの総代の皆さんが参加されるよう、昨年同様、次の点を実施する事が確認された。①総代会のご案内を作成する。②会報配布ルートで担当理事が総代のお宅に、返信用はがきを封入したご案内を届ける。その際、総代会参加のお誘いととも、議事終了後に弁当の昼食会を実施することを伝える。

日時：令和8年5月16日(土)

10時00分 出席者11名 中防災

1. 総代会の会議資料を現在作成中。総代会の議題は令和7年度事業報告、令和7年度決算報告・同監査報告、令和8年度事業計画、令和8年度予算計画。現時点のそれぞれの会議資料が配布され、修正等の意見をお願いすることになった。
 2. 令和8年度の追加予算の考え方原則は、予算の増加が予測される場合は必ず計上し不足の場合は予備費から支出するが、予備費の総額を超えない。
 3. 令和8年度、中の会役員人事案について説明があり、理事全員が賛成し承認された。
- 新理事 中川 修さん

新入会員 新規入会数は、北1丁目 1名、中1丁目 1名、中2丁目 1名、中3丁目 4名

編集後記

広報では、中の会活動をホームページでお知らせしています、是非、活用ください。なお、さらにLINEを活用した「中の会 回覧板」を導入し、適時活動お知らせを進めて参ります。合わせてご利用いただければ幸いです。(中の会LINE回覧板--->)



国立会

中の会

国立会中の会会報：第51号
発行責任者：国立会中の会
会長 河村 隆造
連絡先 長谷川 042-576-9359



令和8年 総代会開催

会長挨拶

令和7年度に国立会中の会は、二つの特徴あるイベントを開催しました。ひとつは、防災プログラムで『たまご食堂』とコラボしドローンを使っのイベント、もうひとつは12月に実施し、多くの方に参加いただけた餅つき会です。令和8年度もこうしたイベントを開催し、地域の繋がりを強めていく所存です。

総代会報告

令和8年6月13日(土)11時30分から、中地域防災センターにて総代会が開催された。総代会出席者数は、役員13名、地区総代7名に加え、委任状7名で、総代総数32名に対し、出席総数27名になり、総代会が成立した。会長の挨拶ではじまり、全ての議題が原案どおり賛成を得た。また、6月10日の理事会で承認された中川 修さんの新理事就任、会計担当理事北澤典子さんの退任が紹介された。議事は次のとおり。



総代会風景

1.令和7年度事業報告

令和7年度は中の会として、活動の柱として展開した6事業は、①資源物回収：年間20万円奨励金を得て、活動イベントの費用をサポート。②大学通り清掃：月2回の清掃を実施、「ごみゼロ運動」に呼応。③おとこの台所：毎月開催、常時20名以上が参画。④自主防災：「たまご食堂」とのコラボを実施、好評を博したドローンの実演。⑤中の会イベント：新年会、観梅会、荻外荘(てきがいそう)見学、餅つき会を実施。特に餅つき会は約180名が参加。⑥広報：4回の国立会中の会会報の発行および会員寄稿による『国立会中の会50周年記念誌』を発行。その他に、駅前盆踊り、八小盆踊り、駅前防災訓練などにも協力した。

2.令和7年度 会計・監査報告

ほぼ予算どおりの決算で、監査係による領収書等の精査をし、適正であることを確認した。(折り込み資料参照)

3.令和8年度事業・予算計画

従来の6事業を継続し実施する。また、「たまご食堂」とコラボしたイベントを計画する。

新任挨拶 中川 修さん

この度、理事に就任致しました中川でございます。私は27年前に国立市に引っ越してまいりました。これまで「中の会」との関わりは、「おとこの台所」に参加させていただいているだけでした。これからは、更にいろいろな活動に参加しつつ、地域のお役に立てればと考えております。皆さん、よろしくお願いいたします。

退任挨拶 北澤典子さん

令和7年度まで会計を担当させていただきました。理事になり、地域の皆さんが楽しく参加できるよう理事の皆さんが尽力されていることを改めて知り、感謝の気持ちでいっぱいです。多くのことを学び、素敵な方々と出会えたことにも感謝しています。本当にありがとうございました。これからも会員として少しでも地域のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「国立会 中の会」五十周年おめでとうございます

私たちが暮らす国立市は、名実ともに充実した文教都市として誇り高い街です。この地域で半世紀に亘り活動が続け、中の会会報を始めとした諸活動により地域に多大の貢献をされて来た関係者の皆様に、心より敬意を表します。気が付けば、私は国立市在住五十数年、米寿を迎え高齢の一市民として、これからどう生きるかが重要な課題です。高齢者の健康寿命には社会参加が欠かせないと言われています。地域との繋がりが大切であることを実感しています。「中の会」に掲載される皆様からのメッセージに共鳴し、行事開催情報等に胸を弾ませていると地域との連帯感を覚えます。年齢と共に友人知人との交流が減る中、「中の会」は地域社会との絆を支えてくれる貴重な存在です。これからも中地域に住む人々の拠り所として、「中の会」の益々のご活躍を祈念します。

(中2丁目 青木澄雄)

小金井公園観桜散策と江戸東京たてもの園見学会に参加して



満開の桜の下で

4月3日、前日までの雨模様の天気から打って変わって快晴、絶好の花見日和となった。国立駅上りホームで待ち合わせ、東小金井駅で下り、CoCoバスに揺られ公園入口バス停に到着、玉川上水を渡り小金井公園へ。正門からまっすぐ北に延びた大学通りのような広いプロムナードが私たちを出迎えてくれる。

入口から数分ぶらぶら歩くと、青々とした芝生の公園が広がる。そこを左に折れ江戸東京たてもの園に向かって、染井吉野や山桜のほか色々な桜(50種類とのこと)を楽しみながら歩いた。公園の芝生の緑と青空と桜の花のコントラストが素晴らしい。途中、桜をバックに12人の笑顔の写真をパチリ。

江戸たてもの園では、まずは早めのランチ、ハヤシライス一択。その後めいめいに見学。私は、2・26事件のあった高橋是清邸などの歴史を伝える建物と、小寺醤油店、子宝湯など下町風情を楽しめるゾーンをまわった。天気も良く楽しい一日だった。心地よい疲労感に包まれ、公園西口のバス停から帰路についた。幹事の古川さん、田代さん有難うございました。

次は秋に来てみよう。

(中1丁目 中川 修)

資源物回収の意義を考える

回収できた資源物のkg数を見ると、ゆるやかに減少している傾向が見て取れます。毎月第1土曜日の回収日に限らず、「ダンボールが大量にあります」などの情報を受け、こまめに車で伺い、防災センター倉庫にその都度運び込んでくれた会員の努力を忘れてはいけません。市からいただく資源回収推進奨励金は毎年会員が納める自治会費に匹敵する20万円、会員や非会員の協力の賜物です。中の会活動資金の半分近くを支え、貴重な資源のリサイクルにも貢献する資源物回収にご協力いただいている皆様と、乗用車で回収に廻ってくださる会員の貢献は左上表で示すとおりです。

参考： 国立市ごみ減量課提供の資料およびメッセージ(くにたちメール配信 2026.5.30)

終戦から2000年までの紙の消費量は次の状況です。1945年 4kg/人 1965年 74kg/人 2000年 約250kg/人 55年の間に、私たちの生活が変わり、紙の消費量は60倍以上にもなっています。資源物回収は貴重な資源の再利用でもあり、森林資源を守っていくことにもつながります。

(中2丁目 古川紀子 中3丁目 三好紀子)

おとこの台所 奮闘記

2023年4月、世田谷から引っ越してきた別府さんが、当時「中の会」で開催していたお喋り会に来て、男だけで料理をつくる会を提案したことから始まりました。会の名称を「おとこの台所」にして、別府さん指導の下、月一回、男性陣が料理をつくって、みんな(ほとんどが女性)で楽しく食べています。別府さんとしては、数回だけ自分が指導して、その後の活動



調理する男性陣



完成した料理

は参加している男性陣に任せるという考えだったようですが、みんな親離れができず、今でも別府さんにお世話になっています。ところが最近、別府さんの活動が忙しくなってきたことで、時には男性参加者の自己責任で料理をつくっていくことになりそうです。

そうした中で、新しい出来事もあります。食事会メンバーの荒さんを中心に、ご飯を食べた後にみんなで楽しく歌を歌っており、会是一段と盛り上がっています。参加男性は自覚を持って料理をつくり、女性陣には「美味しい美味しい」と食べてもらえればと思います。とても楽しい会なので、初めての方でも十分楽しいと思います。皆さん奮ってご参加ください。

(中2丁目 田代正人)

清掃活動で交流を育む

お買い物や散歩のついでにゴミ拾いをするようになって、15年ほどになります。一人ゴミ拾いは、私にとって思考の時間です。なぜゴミを拾う人と捨てる人がいるのだろうか。捨てる人は決して捨合わないだろうし、拾う人はゴミを捨てないだろう。同じ人間なのに、どうして二つのタイプに分かれるのか・・・そんな取り留めのないことを考えたりしています。

一方、街のボランティア仲間や中の会のメンバーと大学通りを清掃する時間は、ご近所とのコミュニケーションが楽しいひとときです。集団の「ダンバー数」という考え方では、約150人ほどが悩みを相談できる関係の目安とされているそうです。安全・便利・快適さを追求した結果、人と人とのふれあいが希薄になりがちな現代ですが、住むのにほどよい規模のくにたちは、温かな交流ができることが大きな魅力です。大好きな街を自分たちで美しく保つ、そんな地道な活動が、より安全で住みやすい街づくりにつながっていると感じています。



お疲れ様でした

(中1丁目 橋本昌一)

小野さんのロンドン サバティカル1年



アウシュビッツのゲート

アウシュビッツ・ビルケナウ博物館には、ヒットラーの資料はごくわずかです。それは、ヒットラーにだけ責任を負わせるのでは、ホロコーストの真実は理解できないと考えているからだそうです。ヒットラーは、第一次世界大戦の敗戦とインフレの進行で自信を喪失していたドイツ人の民族心理につけ込み、ユダヤ人の排斥を強調して1932年の選挙でナチスを第一党に導きます。つまり、独裁者ヒットラーの誕生には民意が大きく作用していたのです。

日本でも、1930年代の不況や既成政党への不信感が高まり、「翼賛選挙」で行われたとは言え、1942年の衆議院選挙では、与党大政翼賛会が81.8%の議席数を獲得しました。選挙結果による民意というものは、時として過ちを犯すものなのです。

(西2丁目 小野泰央)